

事務事業名		27700	工業振興支援事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		2	商工業の振興	根拠法令	一般	7	1	2	☒ 主な事業
施策の展開		5	工業の振興	戦略事業	29	工業振興支援事業			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☐ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	工業団地内の立地企業が良好な環境で事業を行えるよう主に下記事務を行う。 【立地企業相談対応】周辺地域と調和した良好な生産環境を整えることで、既存工業の振興を図るため、企業からの相談に対する体制を充実させるとともに、工業関係団体の育成として共同管理事業や福利厚生事業及び社会貢献事業への支援を行う。鎌数工業団地内の有害鳥獣駆除 毎週日曜日実施 【維持管理費支払い事務】さくら台工業団地に係る干潟土地改良区への排水負担金、鎌数工業団地連絡協議会への排水施設維持管理負担金	有害鳥獣駆除について、企業からの要請により平成25年度から近隣住民への周知の徹底を行なったうえで、実施している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
工業関係団体への支援は、工業団地の排水施設の維持管理や排水に係る維持管理について、負担を行なっている。また、工業団地周辺の環境整備のため有害鳥獣の駆除を行う。	工業団地に係る経費については、主に旭市土地開発公社で行なっていたが、公社解散により市が直接行なうこととなった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1.負担金補助及び交付金	1,710	干潟土地改良区排水負担金、工業団地連絡協議会排水施設維持管理負担金	千円	1,655	1,461	1,211	1,710	1,743
2.委託料	1,726	樹木剪定等委託料、害虫等駆除委託料、看板書替委託料	千円	1,390	904	848	1,726	1,372
3.工事請負費	0	工業団地関連土地整地工事費	千円	779	0	2,592	0	0
4.役務費	44	害虫等駆除関係保険料	千円	48	45	45	44	93
5.その他	15	害虫駆除等関係消耗品費	千円	234	18	26	15	116
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)	千円	4,106	2,428	4,722	3,495
1.国庫支出金	0		1. 国庫支出金	千円				
2.都道府県支出金	0		2. 都道府県支出金	千円				
3.地方債	0		3. 地方債	千円				
4.その他	0		4. その他	千円				
			5. 一般財源	千円	4,106	2,428	4,722	3,324

前年度増減理由	今年度工事請負費予算計上なし及び鎌数工業団地排水処理施設維持管理負担金の減
---------	---------------------------------------

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

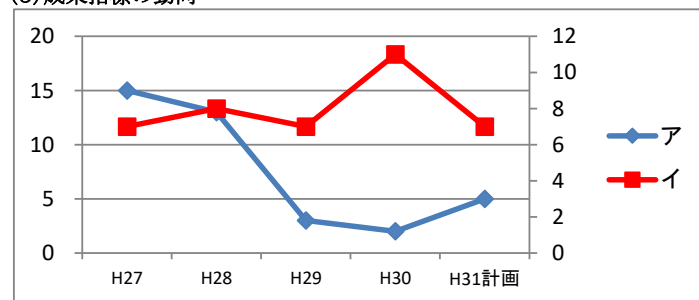
手段	① 主な活動 30年度実績 (30年度に行った主な活動) 干潟土地改良区負担金、工業団地連絡協議会負担金 有害鳥獣駆除 毎週日曜日実施 工業団地敷地及び工業団地内施設除草業務	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
		ア 有害鳥獣駆除実施回数	回	38	25	25	25	25
		イ イベント等でのPR活動回数 (再掲:企業誘致促進事業)	回	0	1	1	1	2
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか) 対象意図 工業団地内企業 対象意図 快適に操業できる (生産環境に係る苦情・相談がなくなる)	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
		ア 立地企業からの苦情件数	件	15	13	3	2	5
		イ 工場等の新設又は拡充を行った企業 (再掲:企業誘致促進事業)	件	7	8	7	11	7

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値減＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ 数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 通年 内容 あさひ鎌数工業団地・C・D地区下水道施設の維持管理に係る下水道課との協議、調整 今後の方角性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他 () 今後も適正な環境を維持していく。